



# Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタ 管理者ガイド

バージョン: 8.6.0  
日付: 2022-06-23

**KOFAX**

© 2013-2022 Kofax. All rights reserved.

Kofax is a trademark of Kofax, Inc., registered in the U.S. and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced, stored, or transmitted in any form without the prior written permission of Kofax.

# 目次

はじめに.....	4
システム要件.....	4
製品ドキュメント.....	4
オフライン ドキュメント.....	5
トレーニング.....	6
Kofax 製品のヘルプの入手.....	6
<b>第 1 章: エクスポート コネクタのインストール.....</b>	<b>8</b>
Kofax Capture または Kofax Express で使用するエクスポート コネクタのインストール.....	8
手動でのエクスポート コネクタの登録.....	9
言語の選択.....	9
Kofax TotalAgility で使用するエクスポート コネクタのインストール.....	10
言語の選択.....	10
<b>第 2 章: エクスポート コネクタのセットアップ.....</b>	<b>11</b>
Kofax Capture を使用したエクスポート コネクタの設定.....	11
Kofax TotalAgility を使用したエクスポート コネクタの設定.....	12
Kofax Express を使用したエクスポート コネクタの設定.....	13
セットアップ オプション.....	14
[全般] 設定 - 下位互換性.....	15
ソース コードの修正.....	16
エクスポート コネクタの詳細.....	17
「forms」という名前はサポート対象外.....	17
エクスポート済みのドキュメントのファイル名と拡張子.....	17
OCR ファイルの命名.....	17
OAuth 認証を使用.....	17
<b>第 3 章: エクスポート コネクタの削除.....</b>	<b>19</b>
Kofax Capture からのエクスポート コネクタの削除.....	19
バッチ クラスからのエクスポート コネクタの削除.....	19
エクスポート コネクタ マネージャ からのエクスポート コネクタの削除.....	19
Kofax Express からのエクスポート コネクタの削除.....	19
ジョブからのエクスポート コネクタの削除.....	19
エクスポート コネクタの登録の削除.....	20
Kofax TotalAgility からのエクスポート コネクタの削除.....	20
コンピュータからのエクスポート コネクタの削除.....	20
エクスポート コネクタの修復.....	21

# はじめに

このガイドには、Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタを正常にインストールおよび構成するために必要な情報が含まれていますこのエクスポート コネクタは、ドキュメント イメージ、OCR Full Text ファイル、Kofax PDF ドキュメント、および eDocument を永続的なストレージにコピーし、Kofax Capture、Kofax TotalAgility、または Kofax Express から Microsoft Office SharePoint リポジトリあるいは SharePoint Online for Office 365 リポジトリにデータを書き込みます。

## システム要件

システム要件および他の製品への依存関係に関する主な情報源は、「[Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタ製品ドキュメント](#)」ページにある[技術仕様ドキュメント](#)です。この技術仕様ドキュメントは定期的に更新されます。エクスポート コネクタ製品を適切に使用するにするためにも内容をよくご確認ください。

## 製品ドキュメント

Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタ ドキュメント セットは、次の URL からオンラインで入手できます。<sup>1</sup>:

[https://docshield.kofax.com/Portal/Products/KEC\\_SP/8.6.0-q63xwb0w07/KEC\\_SP.htm](https://docshield.kofax.com/Portal/Products/KEC_SP/8.6.0-q63xwb0w07/KEC_SP.htm)

完全なドキュメント セットには、次の項目が含まれています。

**Microsoft SharePoint 用 Kofax** エクスポート コネクタ リリース ノート  
他の製品ドキュメントには含まれない最新の製品情報が含まれています。

**Microsoft SharePoint 用 Kofax** エクスポート コネクタ技術仕様書  
サポートされているオペレーティング システムおよびその他のシステム要件に関する情報が含まれています。

---

<sup>1</sup> オンラインで完全なドキュメント セットにアクセスするには、インターネットに接続する必要があります。インターネットに接続されていない場合のアクセスについては、「[オフライン ドキュメント](#)」を参照してください。

### **Microsoft SharePoint** 用 **Kofax** エクスポート コネクタ管理者ガイド

Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタの構成と保守を担当する管理者向けの情報が含まれています。

### **Microsoft SharePoint** 用 **Kofax** エクスポート コネクタのヘルプ

Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタ アプリケーションのセットアップに必要な構成設定について説明します。

## オフライン ドキュメント

ドキュメントをオフライン モードで使用できるようにするには、[Kofax フルフィルメント サイト](#)からダウンロードした Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタ 8.6.0 製品パッケージからドキュメント ファイルを取得します。製品パッケージには、オフラインで使用するための、次のドキュメント ファイルが含まれています。

- KofaxExportConnectorDocumentation\_8.6.0\_forMicrosoftSharePoint\_EN.zip  
製品ドキュメント セット全体 (英語版) が含まれています。
- KofaxExportConnectorDocumentation\_8.6.0\_forMicrosoftSharePoint\_JA.zip  
製品ドキュメント セット全体 (日本語版) が含まれています。

.zip ファイルには、言語ごとに 2 つのフォルダが含まれています。

- **print** フォルダ: 『Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタ管理者ガイド』が含まれています
- **help** フォルダ: 『Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタのヘルプ』が含まれています。
  1. Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタ 8.6.0 をインストールした後に、製品のインストール フォルダ内に **Documentation** という名前のフォルダを作成します。
  2. 新しく作成した **Documentation** フォルダ内に、必要な言語の言語コード フォルダを作成します。
    - 英語の場合は、**EN** という名前のフォルダを作成します
    - 日本語の場合は、**JA** という名前のフォルダを作成します

3. 必要な言語のドキュメント圧縮ファイルの内容を、次の場所に抽出します。

• Kofax Capture の場合:

[ドライブ:]\Program Files (x86)\Kofax\Capture\ServLib\Bin  
\Kofax.SharePoint.8\Documentation\[言語コード フォルダ] または  
[ドライブ:]\Program Files (x86)\Kofax\CaptureSS\ServLib\Bin  
\Kofax.SharePoint.8\Documentation\[言語コード フォルダ]

• Kofax Express の場合:

[ドライブ:]\Program Files (x86)\Kofax\Kofax Express\bin  
\Kofax.SharePoint.8\Documentation\[言語コード フォルダ]

• Kofax TotalAgility の場合:

[ドライブ:]\Program Files (x86)\Kofax\TotalAgility\ExportConnectors\bin  
\Kofax.SharePoint.8\Documentation\[言語コード フォルダ]

❗ 製品をアンインストールした場合、Documentation フォルダは自動的に削除されないため、手動で削除する必要があります。

4. Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタ アプリケーションを起動し、ヘルプ アイコンをクリックして、別のブラウザウィンドウでヘルプを開きます。

PDF ドキュメントをオフラインで使用するには、**Documentation** フォルダまたはコンピュータの別の場所にドキュメントを保管します。**help** フォルダは常に **Documentation** フォルダ内に残しておく必要があります。これらの指示に従ってオフライン ドキュメントをインストールすると、アクティブなインターネット接続が存在している場合でも、製品ドキュメントのオフラインバージョンがデフォルトで使用されるようになります。

## トレーニング

Kofax では、Kofax ソリューションを最大限に活用するために役立つクラスルームおよびコンピュータベースのトレーニングを用意しています。利用可能なトレーニング オプションとスケジュールの詳細については、Kofax Education Web サイト (<https://learn.kofax.com/>) にアクセスしてください。

## Kofax 製品のヘルプの入手

[Kofax Knowledge Base (Kofax ナレッジベース)] リポジトリにある記事の内容は定期的に更新され、Kofax 製品の最新情報について参照できます。製品に関してご不明の点がある場合は、Knowledge Base (ナレッジ ベース) で情報を検索することをお勧めします。

[Kofax Knowledge Base] にアクセスするには、次の手順を実行します。

1. [Kofax Web サイト](#)のホーム ページに移動して、[サポート] を選択します。
2. [サポート] ページが表示されたら、[カスタマーサポート]> [ナレッジベース] を選択します。

**i** [Kofax Knowledge Base] は Google Chrome、Mozilla Firefox または Microsoft Edge 向けに最適化されています。

[Kofax Knowledge Base] は以下の内容を提供します。

- 強力な検索機能で必要な情報をすぐに見つけることができます。

**[Search (検索)]** ボックスに目的の語句を入力し、検索アイコンをクリックしてください。

- 製品情報、設定の詳細、リリース情報などのドキュメント。

[Kofax Knowledge Base] のホームページをスクロールして、製品ファミリーを見つけます。目的の製品ファミリー名をクリックして、関連記事の一覧を表示します。一部の製品ファミリーの場合は、関連記事を表示するために Kofax Portal (Kofax ポータル) の有効なログイン情報を入力する必要があります。

ナレッジベースのホーム ページから、次の操作を実行できます。

- Kofax Community (Kofax コミュニティ) へのアクセス (全カスタマー)。

ページ上部の **[Community (コミュニティ)]** リンクをクリックします。

- Kofax Customer Portal (Kofax カスタマー ポータル) へのアクセス (一部のカスタマーのみ)。

ページ上部の **[Support (サポート)]** リンクをクリックします。[Customer & Partner Portals Overview (カスタマーとパートナー ポータル概要)] が表示されたら、**[Log in to the Customer Portal (カスタマー ポータルにログイン)]** をクリックします。

- Kofax Partner Portal (Kofax パートナー ポータル) へのアクセス (一部のパートナーのみ)。

ページ上部の **[Support]** リンクをクリックします。[Customer & Partner Portals Overview] が表示されたら、**[Log in to the Partner Portal (パートナー ポータルにログイン)]** をクリックします。

- Kofax サポート コミットメント、ライフサイクル ポリシー、電子フルフィルメントの詳細、セルフサービス ツールへのアクセス。

**[General Support (一般サポート)]** セクションに移動して、**[Support Details (サポートの詳細)]** をクリックし適切なタブを選択します。

## 第 1 章

# エクスポート コネクタのインストール

Kofax Capture、Kofax Express、または Kofax TotalAgility で使用するクライアントまたはスタンドアロンワークステーションにエクスポート コネクタをインストールできます。

❗ エクスポート コネクタをインストールするには、Windows 管理者権限が必要です。管理者権限がない状態でこのエクスポート コネクタをインストールすると、エラー メッセージが表示される場合があります。また、エクスポート コネクタをインストールする前に、「システム要件」セクションに記載されている要件を満たす環境であることを確認してください。

## Kofax Capture または Kofax Express で使用するエクスポート コネクタのインストール

1. インストール メディアから、エクスポート コネクタを使用する Administration または Export ワークステーションに、製品ファイルをコピーします。
2. Kofax Capture または Kofax Express がインストール済みであることを確認します。  
インストールされていない場合、エクスポート コネクタをインストールしようとするとエラーが発生します。
3. 製品ファイルの中から **Setup.msi** を見つけて、実行します。
  - Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタ 8.4 が検出された場合は、最新バージョンにアップグレードするように求められます。**[OK]** をクリックすると、アップグレードが実行されます。この場合は、新しいバージョンで使用するために既存のエクスポート コネクタ設定が保持されます。
  - Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタ 8.3 R2 以前のバージョンが現在インストールされている場合は、このバージョンをアンインストールしてから Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタ 8.6.0 をインストールすることをお勧めします。また、インストール後に参照できるように、現在の設定をメモしておきます。
4. **[次へ]** をクリックし、画面の指示に従ってエクスポート コネクタをインストールします。
5. エクスポート コネクタを使用する予定のすべてのワークステーションでインストール手順を繰り返します。

❗ Kofax Capture 10.1 以降では、エクスポート コネクタは自動的に登録されます。Kofax Capture 9 または 10.0、あるいは Kofax Express でエクスポート コネクタを使用する場合は、コネクタを登録するための手動の手順が必要です。「**手動でのエクスポート コネクタの登録**」をご覧ください。

6. エクスポート コネクタの設定を構成します。「**エクスポート コネクタのセットアップ**」を参照してください。



## 手動でのエクスポート コネクタの登録

インストール手順を完了すると、Kofax Capture 10.1 以降で使用するためにエクスポート コネクタが自動的に登録されます。ただし、Kofax Capture 9 または 10.0、あるいは Kofax Express でエクスポート コネクタを使用するには、このセクションの手順を使用してコネクタを登録する必要があります。

1. .NET Framework 4.5 以降がインストールされていることを確認します。
2. Kofax Capture または Kofax Express インストールの bin フォルダに移動します。
3. Kofax Capture の場合:

- a. bin フォルダに次の 2 つのファイルを作成します。Admin.exe.config および RegAscSc.exe.config。
- b. 新しく作成した 2 つのファイルに次の設定を追加します。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<configuration>
  <startup useLegacyV2RuntimeActivationPolicy="true">
    <supportedRuntime version="v4.0" sku=".NETFramework,Version=v4.0"/>
    <supportedRuntime version="v2.0.50727"/>
  </startup>
</configuration>
```

- c. bin フォルダで、Release.exe.config の </configuration> タグの前に次の設定を追加します。

```
<startup useLegacyV2RuntimeActivationPolicy="true">
  <supportedRuntime version="v4.0" sku=".NETFramework,Version=v4.0"/>
  <supportedRuntime version="v2.0.50727"/>
</startup>
```

4. Kofax Express の場合:

bin フォルダで、RegAscSc.exe.config の </configuration> タグの前に次の設定を追加します。

```
<startup useLegacyV2RuntimeActivationPolicy="true">
  <supportedRuntime version="v4.0" sku=".NETFramework,Version=v4.0"/>
  <supportedRuntime version="v2.0.50727"/>
</startup>
```

5. コマンド プロンプト ウィンドウを開き、Kofax.SharePoint.8 フォルダに移動して、次のコマンドを実行します。

```
RegAscSc /f Kofax.SharePoint.Export.inf
```

**i** Kofax Capture 10.0.2 以降で登録が失敗した場合は、UAC をオフにして管理者として Windows コマンド プロンプトを実行するか、管理者として Windows にログオンします。

## 言語の選択

次のいずれかの手順を使用して、エクスポート コネクタの言語を選択します。選択した内容は、Kofax Capture または Kofax Express の再起動後に有効になります。

- Kofax Capture で、[管理] または [Batch Manager] モジュールを開き、[オプション] > [言語] を選択します。
- Kofax Express で、[オプション] > [全般] > [Kofax Express の言語] を選択します。

## Kofax TotalAgility で使用するエクスポート コネクタのインストール

この手順を使用して、Kofax TotalAgility で使用するエクスポート コネクタをインストールおよび設定します。

❶ 手順を開始する前に、Kofax TotalAgility でエクスポート アクティビティを含むプロセスが作成されていることを確認してください。エクスポート コネクタは、プロセス内のドキュメント タイプに関連付けられます。

1. インストール メディアから、エクスポート コネクタを使用するワークステーションに、製品ファイルをコピーします。
2. **[Kofax TotalAgility]** のプログラム フォルダで、**[Kofax エクスポート コネクタ]** を選択します。  
[Kofax TotalAgility エクスポート コネクタの構成] ユーティリティが表示されます。
3. [エクスポート コネクタの構成] 画面で、**[管理]** をクリックします。
4. [エクスポート コネクタ - 管理] 画面で、**[追加]** アイコンをクリックして新しいエクスポート コネクタを追加します。  
[エクスポート コネクタ - 追加] ウィンドウが表示されます。
5. エクスポート コネクタのインストール ファイルに移動し、**Setup.msi** を選択して、**[開く]** をクリックします。  
エクスポート コネクタのインストーラが表示されます。
6. インストーラを実行します。
  - Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタ 8.5.0 が検出された場合は、最新バージョンにアップグレードするように求められます。**[OK]** をクリックすると、アップグレードが実行されます。この場合は、新しいバージョンで使用するために既存のエクスポート コネクタ設定が保持されます。
  - Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタ 8.4.0 以前のバージョンが現在インストールされている場合は、このバージョンをアンインストールしてから Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタ 8.6.0 をインストールすることをお勧めします。また、インストール後に参照できるように、現在の設定をメモしておきます。
7. **[Microsoft SharePoint]** が [エクスポート コネクタ - 管理] 画面に表示されていることを確認し、**[閉じる]** をクリックします。

### 言語の選択

Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタの言語を変更するには、オペレーティング システムの言語を更新します。Kofax TotalAgility とエクスポート コネクタを再起動すると、変更が有効になります。オペレーティング システムの言語の変更の詳細については、Microsoft のドキュメントを参照してください。

❶ 選択した言語が Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタでサポートされていない場合は、英語が使用されます。

## 第 2 章

# エクスポート コネクタのセットアップ

このセクションでは、[Kofax Capture](#)、[Kofax TotalAgility](#)、または [Kofax Express](#) のエクスポート コネクタ - セットアップ ウィンドウにアクセスする方法について説明します。

Microsoft SharePoint サーバーをエクスポートするには、ログイン ユーザーが以下を保持している必要があります。

- Microsoft SharePoint の有効なユーザー名とパスワード
- フォルダを作成および変更する権限
- Microsoft SharePoint のリポジトリに接続する権限

サポートについては、管理者に問い合わせてください。

セットアップ ウィンドウを使用してエクスポート設定を指定し、ドキュメント、フォルダ、およびその他の情報を Microsoft SharePoint のリポジトリにエクスポートする方法を制御します。

[セットアップ] タブの個々の設定の詳細については、エクスポート コネクタの [エクスポート コネクタ - セットアップ] 画面から利用可能なオンライン ヘルプを参照してください。

## Kofax Capture を使用したエクスポート コネクタの設定

Kofax Capture でドキュメント クラスをバッチクラスに関連付けた後に、イメージ、Kofax PDF ドキュメント、eDocument、およびインデックス データをエクスポートするためのエクスポート コネクタを設定します。

1. 「[Kofax Capture または Kofax Express で使用するエクスポート コネクタのインストール](#)」の指示に従ってエクスポート コネクタをインストールします。
2. Kofax Capture Administration モジュールを起動します。
3. [定義] パネルで、[バッチ] タブをクリックします。
4. バッチ クラスを選択して展開し、関連するドキュメント クラスを表示します。
5. 該当するドキュメント クラスを右クリックしてコンテキスト メニューを開き、[エクスポート コネクタ] をクリックします。  
[エクスポート コネクタ] ウィンドウが表示されます。
6. [利用可能なエクスポート コネクタ] リストで、[Microsoft SharePoint] を選択し、[追加] をクリックします。  
[SharePoint ログイン情報] ウィンドウが表示されます。
7. Microsoft SharePoint のユーザー名とパスワードを入力します。パスワードでは大文字と小文字が区別されます。
  - Microsoft アカウントを使用してサインインすることもできます。OAuth 認証の構成方法の詳細については、「[OAuth 認証を使用](#)」を参照してください。

8. Microsoft SharePoint のドメイン名であるドメインを入力します。  
ログイン情報は、Microsoft SharePoint リポジトリへのログインに使用されます。この情報は保存され、エクスポート中に使用されます。ドメイン名は、別の Microsoft SharePoint ドメインが必要な場合にのみ使用されることに注意してください。Microsoft SharePoint と同じドメインである場合は、このオプションを空白のままにします。
9. エクスポート時にエクスポート コネクタが Microsoft SharePoint にログインできない場合にユーザー ID とパスワードを要求するには、[エクスポート中にログインできない場合は、有効なログイン情報を要求する] チェック ボックスをオンにします。
  - オンにした場合、エクスポート コネクタへのログイン時に問題が発生すると、エクスポート中に **[SharePoint ログイン情報]** ウィンドウが表示されます。次に、ユーザーは有効なユーザー名とパスワードを入力し、**[OK]** をクリックします。ただし、ユーザーが **[キャンセル]** をクリックすると、エクスポート プロセスは失敗します。Kofax Capture では、バッチは **[Quality Control]** モジュールにルーティングされます。
  - オフにした場合、エクスポート コネクタへのログイン時に問題が発生すると、エクスポート中に **[SharePoint ログイン情報]** ウィンドウは表示されず、エクスポート プロセスは失敗します。Kofax Capture では、バッチは **[Quality Control]** モジュールにルーティングされます。

**i** サービスとして [エクスポート] を実行する場合、または時間外に [エクスポート] プロセスを実行する場合は、このチェック ボックスをオンにしないでください。**[SharePoint ログイン情報]** ウィンドウには、ユーザーの応答 (またはオペレータの介入) が必要です。
10. **[OK]** をクリックします。  
エクスポート コネクタ - セットアップ ウィンドウが表示されます。「**セットアップ オプション**」を参照してください。
11. セットアップ ウィンドウで、各タブの設定を構成します。個々の設定の詳細については、任意のタブの **[ヘルプ]** をクリックしてください。
12. セットアップ ウィンドウが完了した後に、**[OK]** をクリックします。

## Kofax TotalAgility を使用したエクスポート コネクタの設定

1. 「**Kofax TotalAgility で使用するエクスポート コネクタのインストール**」の指示に従ってエクスポート コネクタをインストールします。
2. [エクスポート コネクタの構成] 画面で、**[セットアップ]** をクリックします。
3. [エクスポート コネクタ - セットアップ] 画面で、ドキュメント タイプを Microsoft SharePoint にエクスポートするために使用するプロセスを選択します。
4. 選択したプロセスに関連付けるドキュメント タイプを選択し、**[追加]** をクリックします。
5. **[コネクタ]** をクリックします。
6. 次の画面の **[利用可能なエクスポート コネクタ]** リストで、**[Microsoft SharePoint]** を選択し、**[追加]** をクリックします。  
**[割り当て済みエクスポート コネクタ]** リストに選択が移動し、**[エクスポート コネクタ - セットアップ]** ウィンドウが表示されます。  
**[SharePoint ログイン情報]** ウィンドウが表示されます。
7. Microsoft SharePoint のユーザー名とパスワードを入力します (大文字と小文字が区別されます)。
  - Microsoft アカウントを使用してサインインすることもできます。OAuth 認証の構成方法の詳細については、「**OAuth 認証を使用**」を参照してください。

8. Microsoft SharePoint のドメイン名であるドメインを入力します。  
ログイン情報は、Microsoft SharePoint リポジトリへのログインに使用されます。この情報は保存され、エクスポート中に使用されます。ドメイン名は、別の Microsoft SharePoint ドメインが必要な場合にのみ使用されることに注意してください。Microsoft SharePoint と同じドメインである場合は、このオプションを空白のままにします。
  9. エクスポート時にエクスポート コネクタが Microsoft SharePoint にログインできない場合にユーザー ID とパスワードを要求するには、[エクスポート中にログインできない場合は、有効なログイン情報を要求する] チェック ボックスをオンにします。
    - オンにした場合、エクスポート コネクタへのログイン時に問題が発生すると、エクスポート中に **[SharePoint ログイン情報]** ウィンドウが表示されます。次に、ユーザーは有効なユーザー名とパスワードを入力し、**[OK]** をクリックします。ただし、ユーザーが **[キャンセル]** をクリックすると、エクスポート プロセスは失敗します。
    - オフにした場合、エクスポート コネクタへのログイン時に問題が発生すると、エクスポート中に **[SharePoint ログイン情報]** ウィンドウは表示されず、エクスポート プロセスは失敗します。
- i** サービスとして [エクスポート] を実行する場合、または時間外に [エクスポート] プロセスを実行する場合は、このチェック ボックスをオンにしないでください。**[SharePoint ログイン情報]** ウィンドウには、ユーザーの応答 (またはオペレータの介入) が必要です。
10. セットアップ ウィンドウで、各タブの設定を構成します (「**セットアップ オプション**」を参照してください)。個々の設定の詳細については、任意のタブの **[ヘルプ]** をクリックしてください。
  11. セットアップ ウィンドウが完了した後に、**[OK]** をクリックします。  
情報メッセージには、設定とカスタム プロパティに対する変更のリストが表示されます。
  12. **[OK]** をクリックして、情報メッセージをクリアします。

## Kofax Express を使用したエクスポート コネクタの設定

1. 「**Kofax Capture または Kofax Express で使用するエクスポート コネクタのインストール**」の指示に従ってエクスポート コネクタをインストールします。
2. Kofax Express を起動します。
3. [ジョブ設定] タブの [エクスポート] グループの [コネクタ] リストで、**[Microsoft SharePoint]** を選択します。
4. セットアップ ツールをクリックします。  
**[SharePoint ログイン情報]** ウィンドウが表示されます。
5. Microsoft SharePoint のユーザー名とパスワードを入力します (大文字と小文字が区別されます)。
  - Microsoft アカウントを使用してサインインすることもできます。OAuth 認証の構成方法の詳細については、「**OAuth 認証を使用**」を参照してください。
6. Microsoft SharePoint のドメイン名であるドメインを入力します。  
ログイン情報は、Microsoft SharePoint リポジトリへのログインに使用されます。この情報は保存され、エクスポート中に使用されます。ドメイン名は、別の Microsoft SharePoint ドメインが必要な場合にのみ使用されることに注意してください。Microsoft SharePoint と同じドメインである場合は、このオプションを空白のままにします。

7. エクスポート時にエクスポート コネクタが Microsoft SharePoint にログインできない場合にユーザー ID とパスワードを要求するには、[エクスポート中にログインできない場合は、有効なログイン情報を要求する] チェック ボックスをオンにします。
  - オンにした場合、エクスポート コネクタへのログイン時に問題が発生すると、エクスポート中に **[SharePoint ログイン情報]** ウィンドウが表示されます。次に、ユーザーは有効なユーザー名とパスワードを入力し、**[OK]** をクリックします。ただし、ユーザーが **[キャンセル]** をクリックすると、エクスポート プロセスは失敗します。Kofax Capture では、バッチは **[Quality Control]** モジュールにルーティングされます。
  - オフにした場合、エクスポート コネクタへのログイン時に問題が発生すると、エクスポート中に **[SharePoint ログイン情報]** ウィンドウは表示されず、エクスポート プロセスは失敗します。Kofax Capture では、バッチは **[Quality Control]** モジュールにルーティングされます。
8. **[OK]** をクリックします。  
エクスポート コネクタ - セットアップ ウィンドウが表示されます。「**セットアップ オプション**」を参照してください。
9. セットアップ ウィンドウで、各タブの設定を構成します。個々の設定の詳細については、任意のタブの **[ヘルプ]** をクリックしてください。
10. セットアップ ウィンドウが完了した後に、**[OK]** をクリックします。

## セットアップ オプション

次の表に、このエクスポート コネクタで使用可能なセットアップ オプションを示します。個々の設定の詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

場所	説明
[送信先の設定] タブ	ルートの送信先と、エクスポートに使用するオプションのフォルダの送信先を指定します。
[ルート送信先のエクスポート] ウィンドウ	SharePoint の送信先を指定します。
[フォルダとドキュメント セット] タブ	フォルダ構造の追加と削除をサポートします。 関連付けられた SharePoint 列を表示する SharePoint コンテンツ タイプを指定します。Kofax のマッピングをリンクするか、フォルダの特定の SharePoint 列に静的テキストを指定できます。 コンテンツ タイプに、サポートされていないデータ タイプにリンクされている必須の列がある場合、使用可能なコンテンツ タイプのリストには表示されません。
[ドキュメント設定] タブ	関連付けられた SharePoint 列を表示する SharePoint コンテンツ タイプを指定します。Kofax のマッピングをリンクするか、フォルダの特定の SharePoint 列に静的テキストを指定できます。 コンテンツ タイプに、サポートされていないデータ タイプにリンクされている必須の列がある場合、使用可能なコンテンツ タイプのリストには表示されません。
[イメージ設定] タブ	エクスポートするイメージのイメージ形式を指定し、ドキュメントとともに OCR Full Text ファイルをエクスポートするかどうかを指定します。

場所	説明
[一般設定] タブ	<p>エクスポート時に使用する一時的な保存場所としてエクスポート作業フォルダを指定し、各ドキュメントの最初のページをスキップするかどうかの設定、およびその他の設定を行います。</p> <p><b>i</b> 既存の構成ファイルの設定がこのバージョンのエクスポート コネクタの [全般] タブにどのように適用されるかに関する詳細については、次のセクションを参照してください。</p>
[フォルダの参照] ウィンドウ	<p>エクスポート済みのイメージを一時的に保存するために使用されるエクスポート作業フォルダを指定します。既存のフォルダを選択するか、新しいフォルダを作成することができます。</p>

## [全般] 設定 - 下位互換性

以前のバージョンのこのエクスポート コネクタでは、次の設定をオプションの構成ファイルで管理でき、それらはすべてのドキュメント クラス/タイプにグローバルに適用されていました。

- **RequestTimeout**
- **MaxRetries**
- **WriteRepositoryId**

これらの設定およびその他の構成の設定は、手動で作成された次の場所にある XML ファイルに保持されています。

Kofax TotalAgility および Kofax Express: %APPDATA%\Kofax\KEC-SharePoint\Config.xml

Kofax Capture: [KCServerPath]\Config\KEC-SharePoint.xml

上記の両方のパスが存在する場合は、最初のパスが優先されます。

このバージョンのエクスポート コネクタでは、[全般] タブで上記の設定が利用でき、エクスポート コネクタのセットアップ中にドキュメント クラス/タイプごとに割り当てることができます。Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタ 8.6.0 にアップグレードする場合:

- 上記の設定の値が既存の構成ファイルで指定されている場合、それらの値はエクスポート コネクタ - セットアップ ウィンドウでデフォルト値として適用されます。
- 構成ファイルが存在しない場合は、以前のエクスポート コネクタ - セットアップ ウィンドウの値が適用されます。

Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタ 8.6.0 の新規インストール時は、エクスポート コネクタ セットアップ ウィンドウに新しいデフォルト値が適用されます。

## キャッシュ

キャッシュは、SharePoint への往復変換を最小限に抑えるために使用されます。このキャッシュはメモリに保存され、永続的ではありません。Kofax Capture の ACConfig.xml 内にある <SharePoint> 要素の新しいセクション (前のセクションで参照される XML ファイルの 1 つ) を介して、管理対象メタデータ用語セット、エンタープライズ キーワード用語、および検索結果の個々の制限を指定できます。個々の値

ごとに有効期限 (分単位) を指定することもできます。未使用の値は、有効期限が切れるとキャッシュから削除されます。値が使用されるたびに、有効期限タイマーがゼロにリセットされます。サンプル:

```
<TermsetCache>
<MaxValues>100</MaxValues>
<Lifetime>60</Lifetime>
</TermsetCache>
<TermsCache>
<MaxValues>10000</MaxValues>
<Lifetime>60</Lifetime>
</TermsCache>
<LookupCache>
<MaxValues>1000</MaxValues>
<Lifetime>60</Lifetime>
</LookupCache>
```

すべての [MaxValues] をゼロに設定すると、キャッシュが無効になります。

エクスポート中、キャッシュは常に最初にチェックされます。一致する値が見つからない場合は、SharePoint サーバーが照会されます。サーバーで値が見つかり、キャッシュに格納されます。キャッシュのしきい値に達すると最も使用頻度の低い最近の項目がキャッシュから削除され、新しい値のための領域が確保されます。

## ソースコードの修正

このエクスポート コネクタのソースコードは、製品ファイル内に配置されています。ソースコードは、Microsoft Visual Studio で開いて編集し、コンパイルすることができます。

❶ エクスポート コネクタを正常に変更およびコンパイルするには、適切なバージョンの Kofax Capture および TAPCommon が事前にインストールされているワークステーションで開発を行う必要があります。変更したエクスポート コネクタを使用するには、クライアントワークステーションで、エクスポート コネクタ Kofax.SharePoint.Connector.dll を変更したバージョンに置き換える必要があります。アクセス拒否エラーが表示された場合は、Administration モジュールを閉じる必要があります。Microsoft SharePoint 製品に付属のドキュメントおよび Microsoft Visual Studio のドキュメントを参照してください。

1. エクスポート コネクタをインストールします。インストール手順については、「[エクスポート コネクタのインストール](#)」を参照してください。Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタのエクスポート コネクタをインストールすると、ソースコードで参照されている必要なコンポーネントがインストールされます。

❶ エクスポート コネクタがデフォルトのフォルダにインストールされていない場合、ソースコードをコンパイルしようとする、TAPCommon 参照に関連するエラーが発生します。こうしたエラーを修正するには、Microsoft Visual Studio の TAPCommon 参照パスを更新して、デフォルト以外のインストールフォルダ内の正しい場所を参照するようにします。

2. Microsoft Visual Studio でソースコードを開いて、必要な変更を加え、コンパイルします。
3. Kofax.SharePoint.Connector.dll をインストールフォルダにコピーします。既存のファイルを置き換えるように求められた場合は、[はい] を選択します。エクスポート コネクタを使用する管理ワークステーションおよびエクスポート ワークステーションごとに、この手順を繰り返す必要があります。



## エクスポート コネクタの詳細

このセクションには、このエクスポート コネクタに関する追加情報が含まれています。

### 「forms」という名前はサポート対象外

このエクスポート コネクタは、ドキュメント名またはフォルダ名としての「forms」の使用をサポートしていません。「forms」という名前は Microsoft SharePoint Server で予約されています。

### エクスポート済みのドキュメントのファイル名と拡張子

エクスポート コネクタは、選択したイメージ タイプに応じて、エクスポートされたドキュメントに .TIF または .PDF のファイル拡張子を自動的に追加します。[名前] 列の値に予期しないファイル名拡張子が含まれる場合、生成されたファイル名には 2 つの拡張子が追加されます。

#### 例

選択したイメージ タイプ	ドキュメントの [名前] 列の値	生成されるファイル名
マルチページ TIFF	myfile	myfile.TIF
マルチページ TIFF	myfile.tif	myfile.TIF
マルチページ TIFF	myfile.pdf	myfile.pdf.TIF
Kofax PDF	myfile	myfile.PDF
Kofax PDF	myfile.pdf	myfile.PDF
Kofax PDF	myfile.tif	myfile.tif.PDF

### OCR ファイルの命名


OCR Full Text ファイルは、次のファイル命名規則を使用します。

[Kofax 値]\_OCR.[拡張子]

## OAuth 認証を使用

このセクションでは、**[SharePoint ログイン情報]** ウィンドウで構成された Microsoft SharePoint 用 Kofax エクスポート コネクタで OAuth によるユーザー認証を有効にする方法について説明します。このウィンドウで設定を行う前に従う必要がある手順については、「[Kofax Capture を使用したエクスポート コネクタの設定](#)」、「[Kofax TotalAgility を使用したエクスポート コネクタの設定](#)」、「[Kofax Express を使用したエクスポート コネクタの設定](#)」をそれぞれ参照してください。

このセクションでは Microsoft Azure Active Directory にアプリケーションがすでに登録されていることが前提となります。

1. **[SharePoint ログイン情報]** ウィンドウで **[サイトの URL]** が指定されていることを確認します。  
例: <https://test.sharepoint.com>
2. **[OAuth 認証を使用]** を選択し、**[構成]** の横にある構成ボタン  をクリックします。  
**[OAuth の構成]** ダイアログ ボックスが表示されます。
3. **[OAuth の構成]** ダイアログ ボックスに次の情報を入力します。この情報は、登録したアプリケーションの Microsoft Azure ページから取得できます。
  - **[アプリケーション ID]:** アプリケーションの **[概要] > [基本]** セクションから **[アプリケーション(クライアント) ID]** の値をコピーします。
  - **[テナント ID]:** アプリケーションの **[概要] > [基本]** セクションから **[ディレクトリ(テナント) ID]** の値をコピーします。
  - **[証明書の拇印]:** アプリケーションの **[管理] > [証明書とシークレット] > [証明書]** セクションから **[拇印]** の値をコピーします。
    - 証明書は CER 形式である必要があります。自己署名証明書または支払い済み証明書のいずれかを使用できます。公開鍵を含む新しい証明書の取得方法は、インターネットで公開されています。
    - 新しい証明書をインポートするには、**[証明書]** セクションの **[証明書のアップロード]** をクリックし、必要な .cer 証明書ファイルを参照し、**[追加]** をクリックしてアップロードします。
4. **[保存]** をクリックします。  
**[OAuth の構成]** ダイアログ ボックスが閉じます。
5. 公開鍵を含む必要な証明書がコンピュータにインポートされていることを確認します。
  - a. コンピュータで Microsoft Management Console (certmgr.msc) を開き、必要な証明書ファイルが **[個人] > [証明書]** にインポートされていることを確認します。
    - 証明書は PFX 形式である必要があります。自己署名証明書または支払い済み証明書のいずれかを使用できます。秘密鍵を含む新しい証明書の取得方法は、インターネットで公開されています。
    - 新しい証明書をインポートするには、**[証明書]** フォルダを右クリックして、新しい証明書をインポートするタスクを選択します。**[証明書のインポート ウィザード]** のプロンプトに従い、必要な .pfx 証明書ファイルを参照し、証明書のパスワードを指定してインポートプロセスを完了します。
  - b. Microsoft Management Console を閉じます。
6. **[SharePoint ログイン情報]** ウィンドウで、**[構成]** をクリックします。  
ログインが成功した場合は、**[Microsoft SharePoint エクスポート コネクタのセットアップ]** ウィンドウが表示されます。このウィンドウの詳細については、「[セットアップ オプション](#)」を参照してください。
7. タブごとに設定を行います。個々の設定の詳細については、任意のタブの **[ヘルプ]** をクリックしてください。
8. **[OK]** をクリックして、情報メッセージをクリアします。

## 第3章

# エクスポート コネクタの削除

次の手順を使用して、エクスポート コネクタを [Kofax Capture](#)、[Kofax Express](#)、または [Kofax TotalAgility](#) から削除し、その後でコンピュータから削除します。必要に応じて、エクスポート コネクタを修復することもできます。

## Kofax Capture からのエクスポート コネクタの削除

次の手順を使用して、Kofax Capture およびコンピュータからエクスポート コネクタを削除します。

### バッチ クラスからのエクスポート コネクタの削除

1. Kofax Capture [管理] モジュールの [バッチ] タブで、バッチ クラスを展開して、関連するドキュメント クラスを表示します。
2. 該当するドキュメント クラスを右クリックし、[エクスポート コネクタ] を選択します。
3. [割り当て済みエクスポート コネクタ] リストでエクスポート コネクタを選択し、[削除] をクリックします。

### エクスポート コネクタ マネージャ からのエクスポート コネクタの削除

1. Kofax Capture [管理] モジュールで、次のいずれかを実行します。
  - Kofax Capture 10.0 以降の場合: [ツール] タブの [システム] グループで、[エクスポート コネクタ] をクリックします。
  - Kofax Capture 9 の場合: [ツール] メニューで、[エクスポート コネクタ マネージャ] を選択します。
2. [エクスポート コネクタ マネージャ] ウィンドウでエクスポート コネクタを選択し、[削除] をクリックします。

## Kofax Express からのエクスポート コネクタの削除

コンピュータからエクスポート コネクタを削除する前に、Kofax Express からエクスポート コネクタを削除します。

### ジョブからのエクスポート コネクタの削除

1. [ジョブ設定] タブの [エクスポート] グループで、コネクタが未処理のジョブに関連付けられていないことを確認します。
2. 必要に応じて、未処理のジョブに別のコネクタを割り当てます。

## エクスポート コネクタの登録の削除

1. エクスポート コネクタを必要とするすべてのジョブの処理が完了したことを確認します。既存のジョブに割り当て済みのコネクタは登録解除できません。
2. Kofax メニューで、[オプション] をクリックします。  
[オプション] ウィンドウが表示されます。
3. [オプション] ウィンドウで、[エクスポート コネクタ] をクリックします。
4. [エクスポート コネクタ] リストで、登録を解除するコネクタの名前を選択し、[削除] をクリックします。  
[エクスポート コネクタ] リストが更新され、エクスポート コネクタが Kofax Express で使用できなくなります。

## Kofax TotalAgility からのエクスポート コネクタの削除

コンピュータからエクスポート コネクタを削除する前に、[Kofax TotalAgility エクスポート コネクタの構成] ユーティリティを使用して、関連するドキュメント タイプとプロセスから割り当てを解除します。

1. [Kofax TotalAgility] プログラム フォルダで、[**Kofax** エクスポート コネクタ] を選択します。  
[Kofax TotalAgility エクスポート コネクタの構成] ユーティリティが表示されます。
2. [エクスポート コネクタの構成] 画面で、[セットアップ] をクリックします。
3. 次の画面の [割り当て済みエクスポート コネクタ] リストで、エクスポート コネクタの名前を選択し、[削除] をクリックしてから、[保存] をクリックします。  
エクスポート コネクタからドキュメント タイプの割り当てが解除されます。
4. [エクスポート コネクタ - セットアップ] 画面の [プロセスを選択] リストで、コネクタとともにエクスポートされたドキュメント タイプに関連付けられているプロセスを選択します。
5. [割り当て済みのドキュメント タイプ] リストで、選択したプロセスに割り当てられたドキュメント タイプを選択し、[削除]、[保存]、[閉じる] の順にクリックします。  
ドキュメント タイプからプロセスの割り当てが解除されます。
6. [エクスポート コネクタの構成] 画面で、[管理] をクリックします。
7. エクスポート コネクタの名前を選択し、[削除] ボタンをクリックしてから、[閉じる] をクリックします。

## コンピュータからのエクスポート コネクタの削除

コンピュータからエクスポート コネクタを削除する前に、必要に応じて、[Kofax Capture](#)、[Kofax Express](#)、および [Kofax TotalAgility](#) からエクスポート コネクタを削除してください。

エクスポート コネクタを削除するには、[コントロール パネル] のオプションを使用するか、次の手順に従います。

1. エクスポート コネクタのインストールに使用した .msi ファイルを実行します。  
既存のインストールが検出されると、[プログラムの保守] ウィンドウが表示されます。
2. [削除] を選択してから、[次へ] をクリックします。

3. 画面の指示に従って、エクスポート コネクタを削除します。  
削除が完了すると、エクスポート コネクタが正常に削除されたことを示すメッセージが表示されます。

## エクスポート コネクタの修復

修復プロセスを使用して、欠落したエクスポート コネクタ ファイルや名前変更または削除されたエクスポート コネクタ ファイルを置き換えることができます。

1. エクスポート コネクタのインストールに使用した .msi ファイルを実行します。  
既存のインストールが検出されると、[プログラムの保守] ウィンドウが表示されます。
2. [修復] を選択し、[次へ] をクリックします。
3. 画面の指示に従って、エクスポート コネクタを修復します。  
手順を完了すると、エクスポート コネクタが正常に修復されたことを示すメッセージが表示されます。